【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【公表番号】特表2011-510266(P2011-510266A)
【公表日】平成23年3月31日(2011.3.31)
【年通号数】公開・登録公報2011-013
【出願番号】特願2010-541016(P2010-541016)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　1/10　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　21/08　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　81/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　1/10　Ｎ
Ｂ６５Ｄ　21/08
Ｂ６５Ｄ　81/18　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成23年12月27日(2011.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下端(1A)と上端(1B)を含む収納部(2)を含む破断可能な多被検物保存容器(1)であって、少なくとも一端(2A, 2B)が開放端(22)を有し、前記収納部(2)の最長寸法部は連続的に形成されており、前記最長寸法部に沿った所定の位置に破断部($4A_1$, $4A_2$; 4B)が設けられており、前記収納部(2)は、複数の被検物に破断されるように適合されており、前記収納部(2)の外側表面にはらせん状の溝(5)が設けられており、前記らせん状の溝(5)は、前記管状収納部(2)の実質的に全長に沿って長手方向に延在するように設けられており、前記管状収納部(2)の内側表面は実質的に平滑である、破断可能な多被検物保存容器(1)。
【請求項２】
収納部(2)が円形断面を有する、請求項１記載の保存容器。
【請求項３】
収納部(2)が、半径方向の力が加えられると複数の被検物に破断されるように適合されている、請求項１または２記載の保存容器。
【請求項４】
前記らせん状の溝がねじ山として形成されている、請求項１～３いずれか記載の保存容器。
【請求項５】
前記破断部が、前記管状収納部(2)の全周囲に延在する1つ以上の円環形状の外面凹部($4A_1$, $4A_2$)として設けられている、請求項１～４いずれか記載の保存容器。
【請求項６】
前記凹部($4A_1$, $4A_2$)の深さが前記管状収納部(2)の全壁厚の5～95%、好ましくは50～95%、より好ましくは90～95%の範囲である、請求項５記載の保存容器。
【請求項７】
前記凹部($4A_1$, $4A_2$)の少なくとも1つが成型によって作製されている、請求項５または請求項６記載の保存容器。

【請求項８】
前記凹部($4A_1$, $4A_2$)の少なくとも1つがフライス削りおよび／またはエッチングによって作製されている、請求項５～７いずれか記載の保存容器。
【請求項９】
前記凹部($4A_1$, $4A_2$)の少なくとも1つが切削によって作製されている、請求項５～８いずれか記載の保存容器。
【請求項１０】
前記外面凹部($4A_1$, $4A_2$)の2つ以上が、収納部(2)の全長の1～100%、好ましくは10～50%、より好ましくは33～40%の範囲である間隔Dで等しい間隔を空けて設けられている、請求項５～９いずれか記載の保存容器。
【請求項１１】
前記破断部が、前記管状収納部(2)の全壁厚の少なくとも、5～95%、好ましくは50～90%、より好ましくは75～85%の範囲の深さまで進入する深いねじ山(4B)が設けられた前記長手方向に延在するねじ山によって提供される、請求項１～１０いずれか記載の保存容器。
【請求項１２】
管状収納部(2)上に設けられたねじ山(5)と係合するねじ込みキャップのねじ山が設けられた少なくとも1つのねじ込みキャップ(3A, 3B, 3C, 3D, 3E)をさらに含む、請求項１～１１いずれか記載の保存容器。
【請求項１３】
前記少なくとも1つのねじ込みキャップに、内方湾曲底部(36) が設けられた、請求項１２記載の保存容器。
【請求項１４】
キャップ(3A, 3B, 3C, 3D, 3E)の材料が収納部(2)の材料よりも軟質である、請求項１２または１３記載の保存容器。
【請求項１５】
キャップ(3A, 3B, 3C, 3D, 3E)の材料が収納部(2)の材料よりも硬質である、請求項１２または１３記載の保存容器。
【請求項１６】
管状収納部の材料がプラスチック材料である、請求項１～１５いずれか記載の保存容器。
【請求項１７】
前記プラスチック材料が、ポリエチレンおよびポリプロピレンからなる群より選択される、請求項１６記載の保存容器。
【請求項１８】
管状収納部の材料がガラス材料である、請求項１～１７いずれか記載の保存容器。
【請求項１９】
破断部のピッチ深さとピッチ幅の選択、および／または材料の種類と材料の厚みの選択が、破断が容易であることならびに確実な保存および取扱いが可能であることに合わせて選択される、請求項１～１８いずれか記載の保存容器。
【請求項２０】
前記保存容器が極低温保存容器である、請求項１～１９いずれか記載の保存容器。
【請求項２１】
少なくとも前記収納部(2)の表面に、取り出される被検物を少なくとも識別するための識別標識、および／または被検物が取り出される容器を少なくとも識別するための識別標識が設けられている、請求項１～２０いずれか記載の保存容器。
【請求項２２】
前記識別標識が内部の容量もまた標識する、請求項２１記載の保存容器。
【請求項２３】
請求項１～19いずれか記載の保存容器などの多被検物保存容器から被検物を離断するための破断ツール(6)であって、前記破断ツール(6)は、前記保存容器の下端または上端の少

なくとも一部分を収容するように適合された下側管状ホルダー部分(6A)を少なくとも含み、少なくとも前記下側部分(6A)には、前記保存容器の少なくとも長手方向の移動を前記下側部分(6A)内に制限することにより前記保存容器を保持するように適合され、かつ前記保存容器のユーザーが決定した被検物の離断を容易にするように適合された保持構成(70，80；82；35)が設けられている、破断ツール(6)。

【請求項２４】

さらに、前記保存容器の前記下端または前記上端のいずれかを収容するように適合された上側管状ホルダー部分(6B)を含み、前記上側部分(6B)の内側表面の少なくとも一部分は、前記保存容器の少なくとも一部分に対する支持表面が提供されるように適合されている、請求項２３記載の破断ツール。

【請求項２５】

前記下側部分(6A)および／または上側部分(6B)の内側表面(62)の少なくとも一部分が、前記保存容器の少なくとも一部分に対する支持表面が提供されるように適合されている、請求項２３または２４記載の破断ツール。

【請求項２６】

前記保存容器の前記外側表面の少なくとも一部分に対する支持表面が提供されるように適合されている、請求項２５記載の破断ツール。

【請求項２７】

前記管状収納部上の前記キャップの外側表面の少なくとも一部分に対する支持表面が提供されるように適合されている、請求項２５または２６記載の破断ツール。

【請求項２８】

前記保持構成が前記下側部分(6A)を少なくとも含み、前記下側部分(6A)には、前記下側部分(6A)の少なくとも一部分に沿って延在する長手方向の貫通スリット(80)が設けられており、該スリット内部には、前記保存容器の少なくとも長手方向の移動を前記破断ツール内に制限するように適合された横断ピン(70)が設けられている、請求項２３～２７いずれか記載の破断ツール。

【請求項２９】

前記ピン(70)の最長寸法部(74)が、前記管状ホルダー部分(6A，6B)の少なくとも内径全体を横断するように延在している、請求項２８記載の破断ツール。

【請求項３０】

さらに、管状ホルダー部分(6A，6B)の長手方向に対して前記ピンを固定するための手段(82，90)が設けられている、請求項２８または２９記載の破断ツール。

【請求項３１】

前記固定手段が、管状ホルダー部分(6A，6B)の壁内に貫通孔(82)を含み、前記孔(82)の直径が実質的に前記ピン(70)の直径と等しい、請求項３０記載の破断ツール。

【請求項３２】

前記固定手段が、貫通スリット(80)または貫通孔(82)の反対側に設けられた1つ以上の溝(90)を含む、請求項３０または３１記載の破断ツール。

【請求項３３】

2つ以上の前記溝(90)が、互いに間隔Lの間隔を空けて設けられている、請求項３２記載の破断ツール。

【請求項３４】

前記保持構成が、前記保存容器の少なくとも長手方向の移動を前記下側部分内に制限するため、および前記保存容器のユーザーが決定した被検物の選択を容易にするための、内面に設けられた長手方向に延在する適合ねじ山(35)を含む、請求項２３～３３いずれか記載の破断ツール。

【請求項３５】

前記下側部分(6A)および／または前記上側部分(6B)のいずれかが、1つ以上の前記キャップ(3A，3B，3C，3D)を含む容器を収容するように適合されている、請求項２３～３４いずれか記載の破断ツール。

【請求項３６】
前記下側部分(6A)および／または前記上側部分(6B)が、前記保存容器(1)のキャップ(3A，3B，3C，3D)として適合されている、請求項２３～３５いずれか記載の破断ツール。
【請求項３７】
さらに、前記下側部分(6A)および／または前記上側部分(6B)の一端にツール端部(64，66)が設けられている、請求項２３～３６いずれか記載の破断ツール。
【請求項３８】
上側および／または下側部分(6A，6B)の開放端の最長寸法部(92)に、保持部材の残部よりも大きな内径が設けられている、請求項２３～３７いずれか記載の破断ツール。
【請求項３９】
請求項１～２２いずれか記載の保存容器と、請求項２３～３８いずれか記載の破断ツールとを含む、被検物の保存および分配システム。